THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

Kansai University

Environmental Report Data Book 2009

関西大学 環境報告書データブック 2009

Kansai University

Environmental Report Data Book 2009

関西大学 環境報告書データブック 2009

総論

関西大学環境憲章・環境方針 1
関西大学の概要 3

環境マネジメント活動

環境負荷の把握 7
サステイナブル・ユニバーシティの推進 8
省エネルギーに向けた活動 10
廃棄物の減量に向けた活動 11

環境教育、環境に配慮した社会貢献・保全活動

関西大学の環境教育 13
公開講座・セミナー 14
学生等の取り組み 15

キャンパスマップ

千里山キャンパス・高槻キャンパス・天六キャンパス 16

[編集方針]	本データブックは、教育・研究等の大学運営から発生する環境負荷の把握につとめ、その低減に取り組むとともに、学内外の環境コミュニケーションを推進することを目的として作成しました。
[本データブックについて]	2008年度における本学の環境保全活動のデータについて体系的に記載しています。その他の情報は、本学のウェブサイトでご案内しています。 http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/environment.html
[対象範囲]	学校法人関西大学
[対象期間]	2008年4月～2009年3月（一部対象期間外を含む）
[発行時期]	毎年3月頃

総論〈関西大学環境憲章・環境方針〉

関西大学は経営理念、すなわち関西大学が拠って立つ価値観として、真に社会の発展と人類の福祉に貢献する高い志を持ち、かつ社会の進歩にとってなくてはならない「市民社会の中の大学」、「地球社会の中の大学」であり続けることを掲げ、このために全学のあらゆる資源と活力を結集し、教育、研究、就職、財政をはじめ多種多様な分野に「強い関西大学」を構築することを謳っている。

この理念のもとで、環境問題に対しても積極的な取り組みを推進していくために、以下の「関西大学環境憲章」および「関西大学環境方針」を定める。

正門

関西大学環境憲章

地球温暖化や資源・廃棄物等のさまざまな環境問題は、産業革命以降の大量生産・大量消費・大量廃棄といった環境負荷の大きな社会のあり方の反省をわれわれに迫り、持続可能で環境に優しい循環型社会への転換が不可欠であることは、もはや誰の目にも明らかとなっている。産業界や家庭はいうに及ばず、地方自治体や非営利団体、そして大学にも省エネルギーやリサイクル等への協力が求められている。

関西大学は、1886年に開学以来124年の長きにわたって教育研究を実践しつつ、有為な人材を世に送り出してきた。21世紀に入っても、真に社会の発展と人類の福祉に貢献し、社会の進歩にとってもなくてはならない存在であり続けるために、「21世紀型総合学園」を標榜しつつ、全学のあらゆる資源と活力を結集し、教育、研究、就職、財政をはじめ多種多様な分野で「強い関西大学」を構築することをめざしている。「教育」「研究」「社会貢献」を関西大学に課せられた3つの使命と位置づけ、学術研究と人間教育を真に統合するプログラム、先端的研究と社会貢献を結びつける複眼的な施策を実行している。そしてこの一環として、環境問題にも積極的に取り組んで行く。

ここに関西大学は、教育・研究をはじめとするあらゆる活動を通して、かけがえのない地球環境の重要性を訴えるとともに、地球環境に配慮し、またそれに調和した人間的豊かさの実現のため、次ページの環境方針のもとに、全学を挙げてサステイナブル・ユニバーシティの構築に取り組むこととする。

関 西 大 学 環 境 方 針

◆ サステイナブル・ユニバーシティをめざして

関西大学では、学部、大学院、研究所、併設校などにおいて、さまざまな教育・研究が行われているが、いずれのキャンパスにおいても、サステイナブル・ユニバーシティをめざして以下の環境保全活動を実施する。

1 関西大学におけるすべての構成員が、教育・研究等の大学運営に関するあらゆる活動において、環境に関して定められている法令、規則等を遵守する。

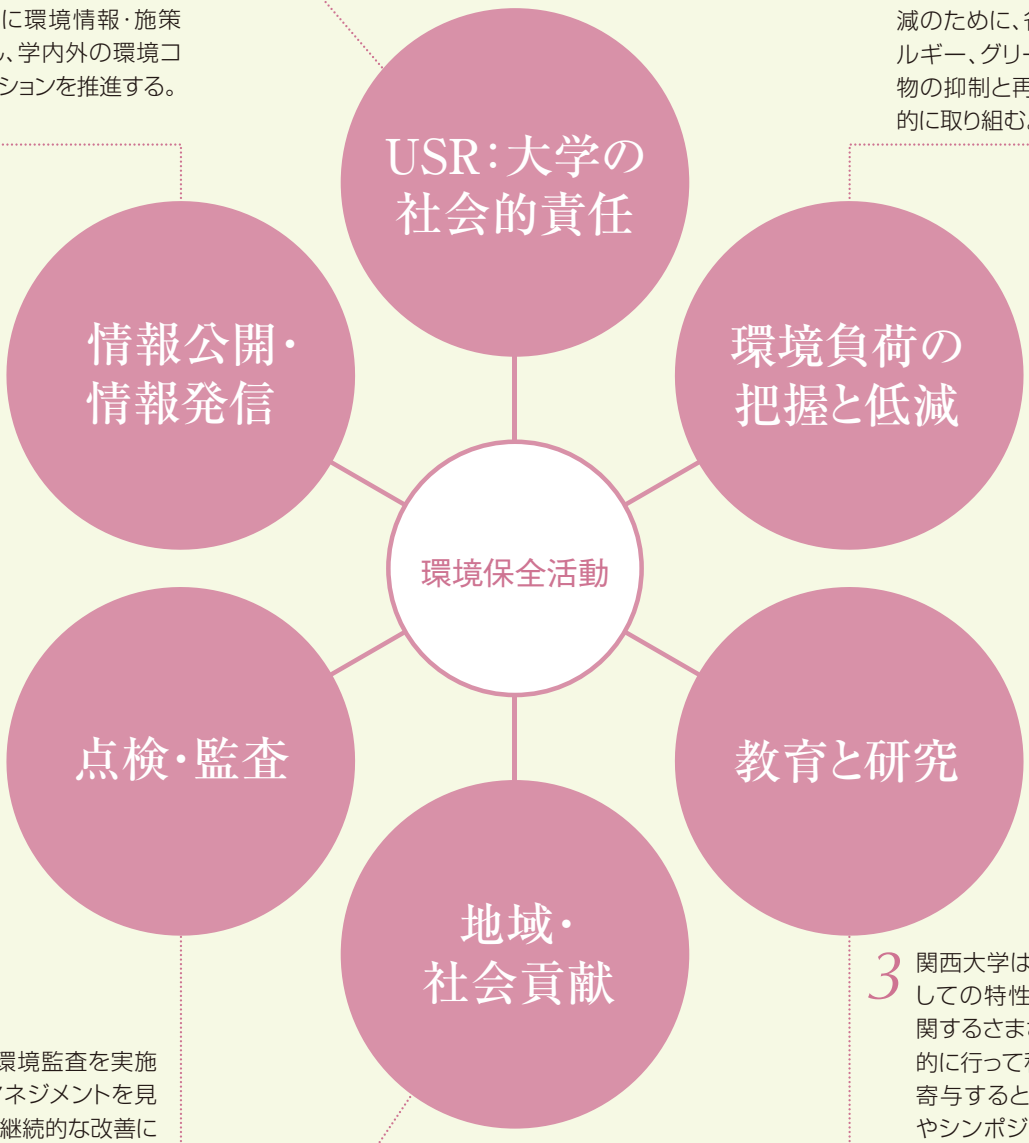
2 関西大学は、教育・研究等の大学運営から発生する環境負荷の把握につとめ、その低減のために、省資源・省エネルギー、グリーン購入、廃棄物の抑制と再資源化に積極的に取り組む。

3 関西大学は、その総合大学としての特性を活かし、環境に関するさまざまな研究を積極的に行って科学技術の発展に寄与するとともに、環境教育やシンポジウムなどを通してその公開や普及に努める。

4 関西大学は、地域の一員であることを深く認識し、吹田市や高槻市、堺市等とも連携しつつ地域の環境保全に協力し、情報交換等を行う。

5 定期的に環境監査を実施し、環境マネジメントを見直し、その継続的な改善に努める。

6 刊行物やホームページを通して、積極的に環境情報・施策等を公表し、学内外の環境コミュニケーションを推進する。



総論〈関西大学の概要〉

1886年11月4日、関西初の本格的法律学校として、大阪市西区京町堀の願宗寺に開校された関西法律学校が、関西大学の前身です。1922年には、千里山に学舎が竣成し移転、同年6月5日には、法学部と商学部をもつ大学（旧制）となりました。それ以降、「学の実化」の理念のもとに数々の政策・企画を打ち出し、学部・研究科の増設、研究所の開設等をすすめていきました。そして、時代は変化し、「国際化」「情報化」「開かれた大学」「社会貢献」をめざしていくなか、平成に入るとさらに改革は進められ、2009年現在、11学部11研究科を擁する総合大学となりました。

関西大学は、21世紀型総合学園として成長し続けています。

第3学舎

尚文館

関西大学の概要（2009年5月1日現在）

●法人名称	学校法人関西大学
●創立	1886年
●キャンパス	千里山キャンパス／564-8680　大阪府吹田市山手町3-3-35
	高槻キャンパス／569-1095　大阪府高槻市霊仙寺2-1-1
	天六キャンパス／531-0061　大阪府大阪市北区長柄西1-3-22
●学部	法学部、文学部、経済学部、商学部、社会学部、政策創造学部、外国語学部、総合情報学部、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部
●大学院	法学研究科、文学研究科、経済学研究科、商学研究科、社会学研究科、総合情報学研究科、理工学研究科、外国語教育学研究科、心理学研究科、法務研究科（法科大学院）、会計研究科（会計専門職大学院）
●学生数（学部）	27,368人
●学生数（大学院）	2,172人
●大学専任教育職員	646人
●大学非常勤講師	1,288人
●専任事務職員	459人
●土地面積	301,737坪
●建物面積	116,499坪

大学組織図（2009年4月1日現在）

学部

法学部	法学政治学科
文学部	総合人文学科
経済学部	経済学科
商学部	商学科
社会学部	社会学科　社会学専攻　心理学専攻　マス・コミュニケーション学専攻　社会システムデザイン専攻
政策創造学部	政策学科
外国語学部	外国語学科
総合情報学部	総合情報学科
システム理工学部	数学科　物理・応用物理学科　機械工学科　電気電子情報工学科
環境都市工学部	建築学科　都市システム工学科　エネルギー・環境工学科
化学生命工学部	化学・物質工学科　生命・生物工学科

- 図書館
- 博物館
- ITセンター
- 教育推進部
  - 教育開発支援センター
  - 教職支援センター
- 研究推進部
- 社会連携部
  - 産学官連携センター
  - 知財センター
  - 地域連携センター
  - 高大連携センター
- 国際部
  - 日本・EU研究センター
  - 国際教育センター
- 入試センター
- 学生センター
- キャリアセンター
- エクステンション・リードセンター

研究所等

- 経済・政治研究所
- 東西学術研究所
- 先端科学技術推進機構
  - ハイテク・リサーチ・センター
  - 学術フロンティア・センター
  - 産学連携研究センター
  - 医工薬連携研究センター
  - 地域再生センター
- 法学研究所
- ソシオネットワーク戦略研究機構
- 人権問題研究室

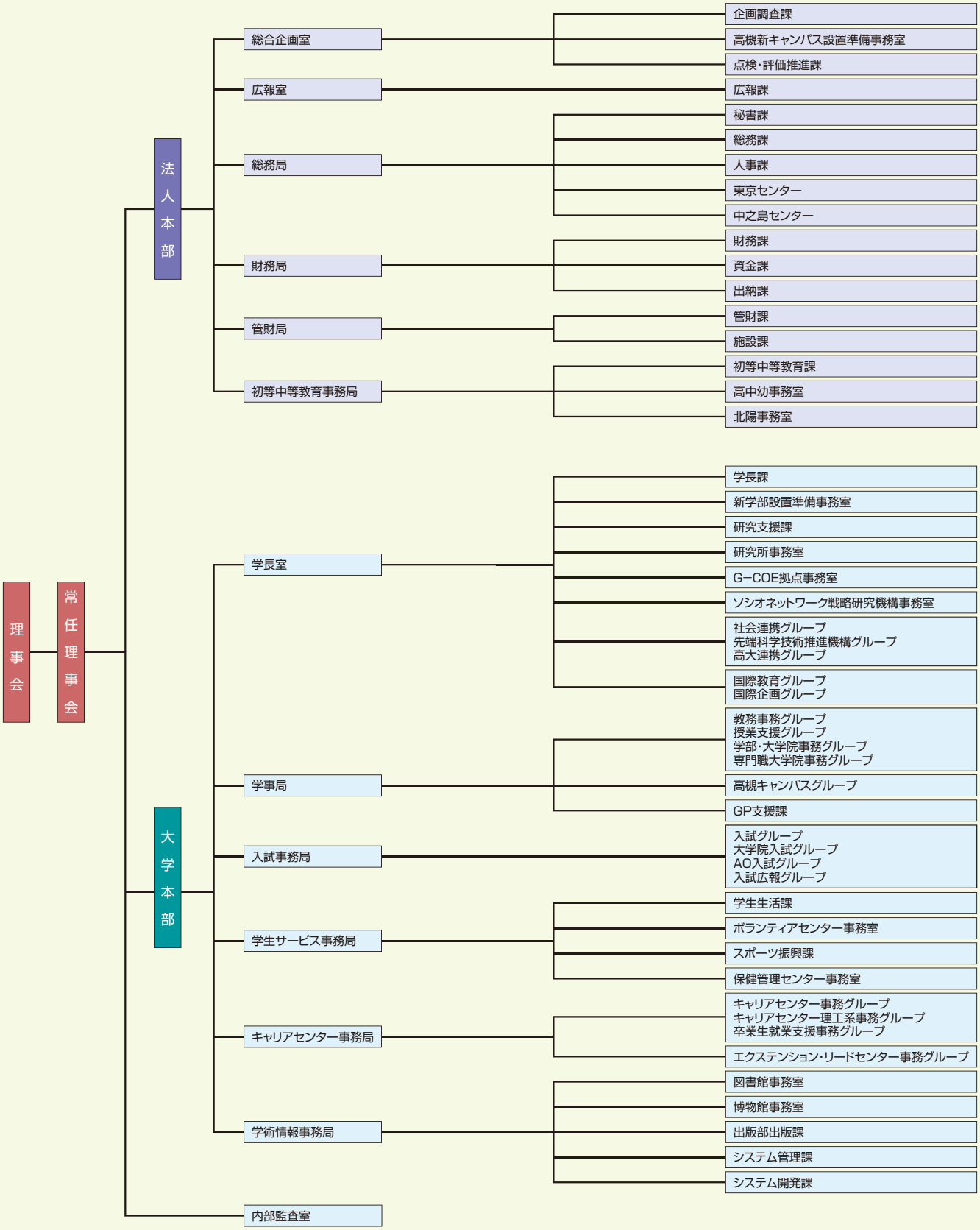
大学院

法学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	法学・政治学専攻
文学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	総合人文学専攻　文化交渉学専攻
経済学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	経済学専攻
商学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	前期課程　商学専攻 後期課程　商学専攻　会計学専攻
社会学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	社会学専攻　社会システムデザイン専攻　マス・コミュニケーション学専攻
総合情報学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	前期課程　社会情報学専攻　知識情報学専攻 後期課程　総合情報学専攻
理工学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	前期課程　システムデザイン専攻（数学分野／物理・応用物理学分野／機械工学分野／電気電子情報工学分野） ソーシャルデザイン専攻（建築学分野／都市システム工学分野／エネルギー・環境工学分野） ライフ・マテリアルデザイン専攻（化学・物質工学分野／生命・生物工学分野） 後期課程　総合理工学専攻
外国語教育学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	外国語教育学専攻
心理学研究科	博士課程（前期課程・後期課程）	前期課程　認知・発達心理学専攻　社会心理学専攻 後期課程　心理学専攻
	専門職学位課程	心理臨床学専攻（臨床心理専門職大学院）
法務研究科（法科大学院）	専門職学位課程	法曹養成専攻
会計研究科（会計専門職大学院）	専門職学位課程	会計人養成専攻

併設校

- 関西大学第一高等学校
- 関西大学第一中学校
- 関西大学幼稚園
- 関西大学北陽高等学校

事務組織図（2009年4月1日現在）



学生数・教職員数（2009年5月1日現在）

学生数

● 学部

学部	男	女	合計
法学部	2,425	1,240	3,665
文学部	1,498	2,906	4,404
経済学部	2,376	884	3,260
商学部	1,941	1,278	3,219
社会学部	1,554	2,093	3,647
政策創造学部	656	585	1,241
外国語学部	49	100	149
総合情報学部	1,525	831	2,356
システム理工学部	1,521	73	1,594
環境都市工学部	861	159	1,020
化学生命工学部	868	267	1,135
工学部(2006年以前入学生)	1,492	186	1,678
合計	16,766	10,602	27,368

● 大学院

大学院	博士課程前期課程			博士課程後期課程			専門職学位課程		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
法学研究科	35	16	51	10	7	17	—	—	—
文学研究科	103	136	239	89	74	163	—	—	—
経済学研究科	20	18	38	8	2	10	—	—	—
商学研究科	19	30	49	1	3	4	—	—	—
社会学研究科	25	39	64	22	18	40	—	—	—
総合情報学研究科	69	7	76	19	7	26	—	—	—
理工学研究科	322	27	349	2	0	2	—	—	—
工学研究科(2008年以前入学生)	323	26	349	22	1	23	—	—	—
外国語教育学研究科	25	54	79	9	29	38	—	—	—
心理学研究科	14	17	31	10	10	20	—	—	—
法科大学院	—	—	—	—	—	—	258	85	343
会計専門職大学院	—	—	—	—	—	—	99	28	127
臨床心理専門職大学院	—	—	—	—	—	—	9	25	34
合計	955	370	1,325	192	151	343	366	138	504

● 学部・大学院

		男	女	合計
学部		16,766	10,602	27,368
大学院	博士課程前期課程	955	370	1,325
	博士課程後期課程	192	151	343
	専門職学位課程	366	138	504
	小計	1,513	659	2,172
学部・大学院合計		18,279	11,261	29,540

● 高等学校・中学校・幼稚園

	男	女	合計
関西大学第一高等学校	763	613	1,376
関西大学北陽高等学校	771	242	1,013
関西大学第一中学校	378	394	772
関西大学幼稚園	113	93	206
合計	2,025	1,342	3,367

教職員数

● 大学・大学院

学部	教授	准教授	専任講師	助教	副手	非常勤講師	合計
大学	—	—	—	—	—	1,288	1,288
法学部	29	15	3	—	—	—	47
文学部	91	26	—	5	—	—	122
経済学部	31	15	—	—	—	—	46
商学部	27	15	1	2	—	—	45
社会学部	39	6	1	3	1	—	50
政策創造学部	16	3	1	—	—	—	20
外国語学部	31	7	—	—	—	—	38
総合情報学部	40	7	—	1	—	—	48
システム理工学部	37	27	10	6	—	—	80
環境都市工学部	22	19	5	6	—	—	52
化学生命工学部	24	18	4	6	—	—	52
法科大学院	23	—	—	—	—	—	23
会計専門職大学院	6	3	—	—	—	—	9
臨床心理専門職大学院	6	2	—	—	—	—	8
教育推進部	1	—	—	1	—	—	2
国際部	1	3	—	—	—	—	4
合計	424	166	25	30	1	1,288	1,934

● 高等学校・中学校・幼稚園

	教諭	常勤講師	非常勤講師	合計
関西大学第一高等学校	49	—	24	73
関西大学北陽高等学校	47	12	24	83
関西大学第一中学校	32	—	17	49
関西大学幼稚園	7	—	—	7
合計	135	12	65	212

● 事務職員

	専任
法 人	111
大学	336
高等学校・中学校・幼稚園	12
合計	459

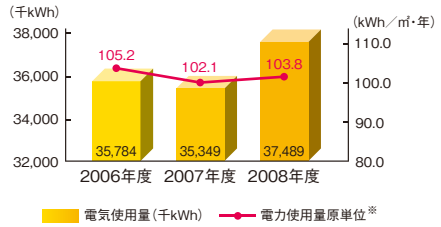
環境マネジメント活動

環境負荷の把握

本学の大学運営に投入した資源と排出した環境負荷物質の関係を図示します。環境負荷を数値で把握し、環境負荷低減の計画や取組みに活かすことにより、環境負荷の低減に努めます。

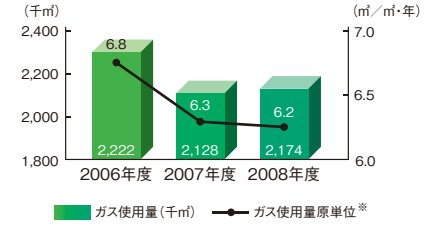
INPUT（投入量）

電気　電気使用量推移



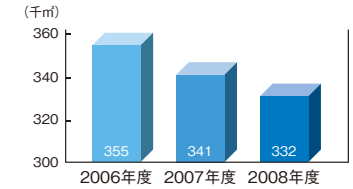
※原単位：使用量を建物延床面積で除した単位面積当たりの使用量

ガス　ガス使用量推移

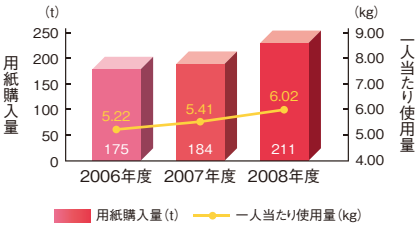


※原単位：使用量を建物延床面積で除した単位面積当たりの使用量

水　水使用量（千㎥）推移



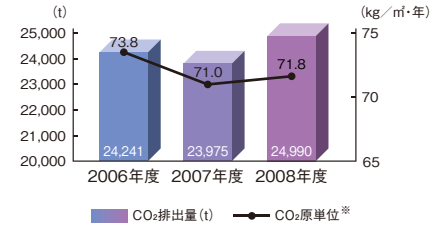
OA用紙　OA用紙使用量推移



教育・研究・社会貢献活動

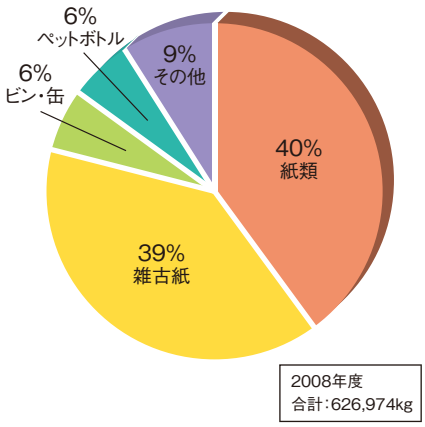
OUTPUT（排出量）

CO_2　CO_2排出量推移

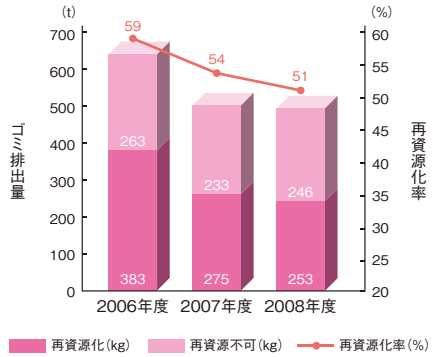


※CO_2原単位：電気・ガスの使用量を原油換算した総合計をCO_2排出量に換算したもの

2008年度 廃棄物内訳



紙ごみ　ゴミ排出量（紙ごみ）



サステイナブル・ユニバーシティの推進

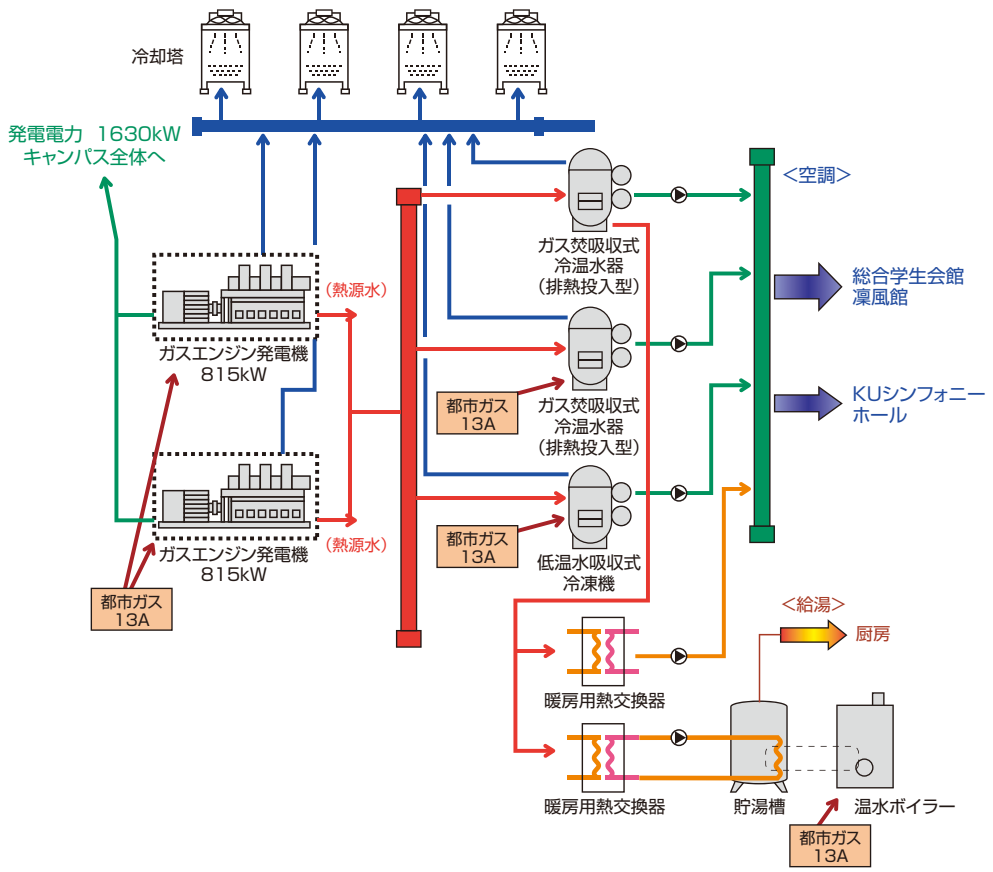
本学では、多くの環境配慮技術を導入し、地球環境負荷の低減に貢献できるキャンパスづくりを推進しています。

コージェネレーションシステム

ガスエンジンで発電機を駆動し、発電すると共にガスエンジンからの廃熱を利用して空調や給湯に利用することにより、エネルギー消費量とCO_2の削減を図っています。

	発電量（万kWh）	CO_2削減量（t）
2006年度	514.3	545
2007年度	621.8	885
2008年度	538.2	908

総合学生会館　凜風館　コージェネレーションシステムフロー



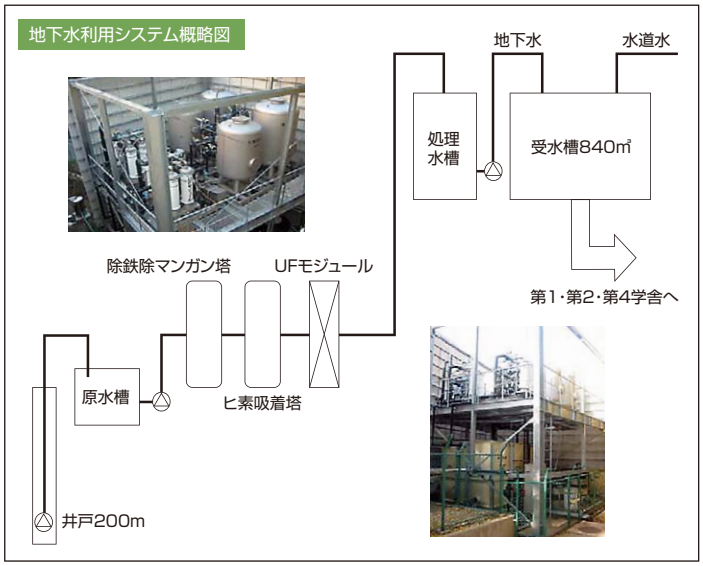
太陽光発電システム

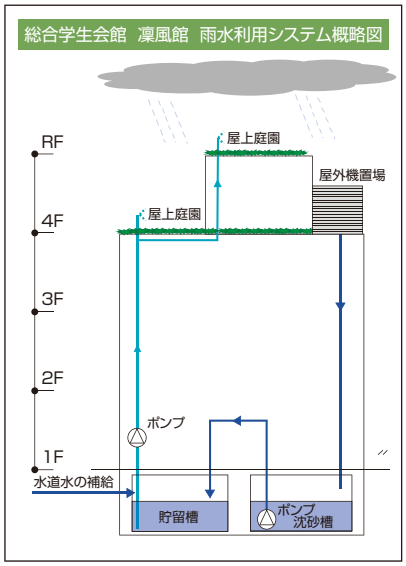
建物の外壁や屋上に太陽電池モジュールを設置し、発電電力を学内へ供給することにより、CO_2排出量の削減を図っています。

	発電量（万kWh）	CO_2削減量（t）
2006年度	12,233	6.8
2007年度	44,309	24.6
2008年度	54,228	30.1

地下水・雨水利用システム

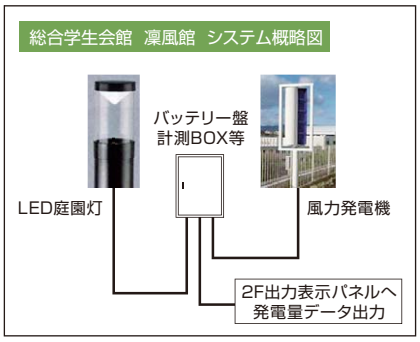
深さ200mの井戸より汲み上げた地下水をろ過・滅菌処理し、吹田市水と混合して飲料水として学内に供給しています。雨水については、専用タンクに貯水し、庭園の植栽の散水用として活用しています。





風力発電

都心部における低風速の場合でも効率的に発電できるように設計された、小型の垂直軸風車（サボニウス型）を9台設置しています。発電電力はLED庭園灯に活用しています。



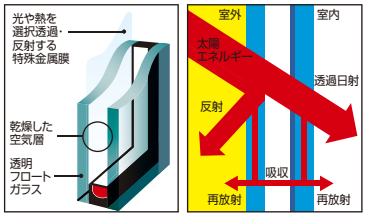
屋上庭園

建物への熱負荷の軽減と夏場のヒートアイランド現象の抑制を図るため、屋上緑化を導入しています。2009年4月現在の屋上庭園の面積は148㎡です。

断熱ガラス

断熱性・遮熱性に優れたLow-E複層ガラスを採用し、熱負荷を軽減しています。さらに、紫外線・赤外線反射吸収コーティング剤をガラス面に塗布することにより、断熱性能の向上を図るだけでなく、什器、備品の変色、劣化を軽減しています。

Low-E複層ガラス構造図



生ごみ処理システム

総合学生会館 凜風館の2階食堂では、約200kgの生ごみが日々発生しています。厨芥ごみの減量と償却処理時のCO_2排出量の削減を図るため、生ごみ処理システムを2台設置し、肥料にリサイクルしています。

省エネルギーに向けた活動

2005年に「省エネ推進委員会」が発足し、エネルギー使用量の把握、省エネルギーに関するさまざまな施策の検討を行っています。これにより「環境にやさしい関西大学」を目指し、本学の構成員全員が一丸となって、活動を継続しています。

照明設備などの省エネ対策の実施

照明設備	昼休み／事務室の照明の消灯	業務上特に必要な場合を除き、こまめに消灯
	昼休み／教室の照明の消灯	学生が特に必要な場合を除き、消灯
	トイレ照明の消灯	使用後に消灯
	廊下・ロビー照明の消灯	業務に支障がない範囲で消灯
その他	不使用時の電源オフ （パソコン・コピー機・湯沸しポットなど）	こまめに主電源を切り、コンセントからプラグを抜く

クールビズ・ウォームビズ

2007年度から、夏季のクールビズ（6月から9月）、冬季のウォームビズ（11月から3月）を導入し、冷暖房時の空調エネルギーの削減を図っています。

クールビズ

ウォームビズ

廃棄物の減量に向けた活動

2006年度より、廃棄物排出量の抑制に向けて、千里山・高槻キャンパスで廃棄物排出量の計測を実施しています。廃棄物の内訳としては、紙類が全体の約40%を占めており、紙の使用量の抑制とリサイクルに努めています。

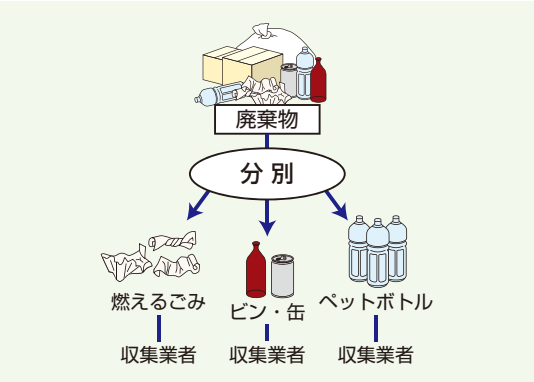
紙の使用量の抑制対策の実施

2004年度から、本学のコピー機やプリンターは両面印刷可能な機種に更新し、両面印刷を推進しています。また、コピー機をネットワークスキャナーとして活用し、紙原稿の発生抑制も積極的に行っています。

廃棄物の管理

本学の廃棄物は、燃えるごみ、ビン・缶、ペットボトルに分別し、ごみ収集業者に収集運搬を委託して処理しています。

また、建物の解体時に出る建築廃材や理工系学部の実験などで排出される実験廃液などは、本学と委託契約を取り交わした業者が産業廃棄物として、適正な処理を行っています。

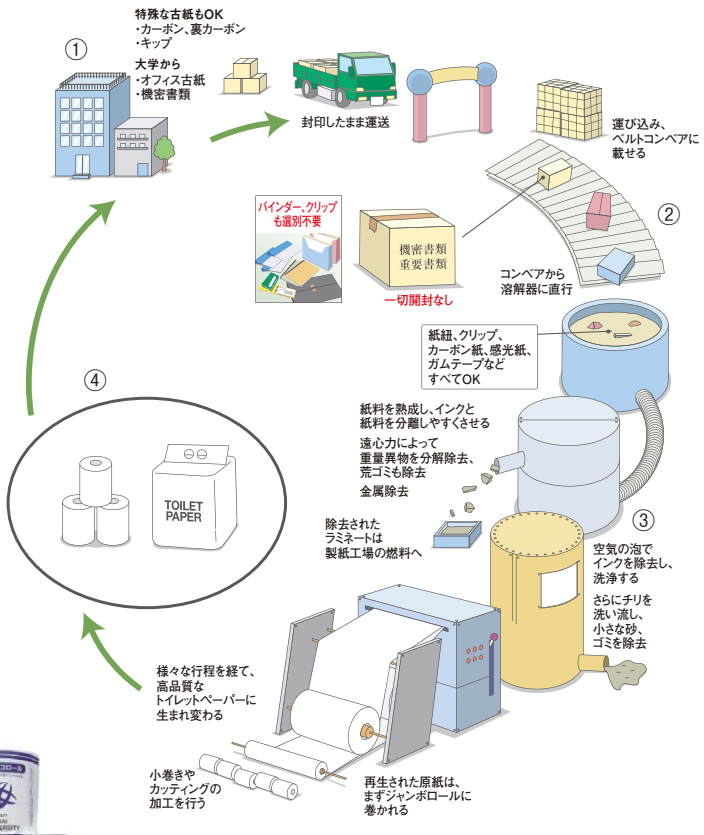


リサイクル

リサイクル活動の推進の結果、2008年度の本学の紙ごみのリサイクル率は約50%で、約250tの廃棄物を再資源として活用しています。

機密文書	古紙として再利用 KUエコロールとして再利用
機密文書以外のOA紙・紙ごみ	ほぼ100%リサイクル
リサイクルが可能な古紙	段ボール原紙として再利用
ビン・缶・ペットボトル	ほぼ100%リサイクル

関西大学の機密文書からKUエコロール(トイレットペーパー)へ



2009年からコミュニケーションマークを
施したデザインに変更しました!

KUエコロールへ生まれ変わる行程

①専門業者が定期的に機密文書の回収を行い、関西大学内で封印し再生工場へ
②再生工場にて封印が解かれ、そのまま溶解炉へ
③異物の排除とインクの除去を行い再生紙へとなる
④回収から12時間前後でKUエコロールへと生まれ変わり、再び関西大学へ

2008年度、本学が排出した機密文書52,850kgの約40%の21,432kgが
KUエコロールとして再生され、大学の各所で使用されました。

環境教育、環境に配慮した社会貢献・保全活動

関西大学の環境教育

全学および各学部で行われている環境教育の科目一覧です。2008年度の教養科目改革によって、従来の教養科目は全学共通科目となり、科目の性格（知の発見・継承・跳躍）と教育目的（人間性・社会性・国際性）によって分類・整理されて半期2単位科目として提供されています。

2009年度現在

科目名	開講
環境の倫理	全学共通科目
人類紀の環境変動	全学共通科目
生物と環境	全学共通科目
エネルギーと環境	全学共通科目
食と環境	全学共通科目
環境と社会	全学共通科目
地域の資源を知ろう	全学共通科目
食べ物を科学する	全学共通科目
バイオサイエンス入門	全学共通科目
倫理学（環境の倫理）	教養科目
地学（人類紀の環境変動）	教養科目
地学（低湿地の自然環境）	教養科目
地学（大気環境と生活）	教養科目
生物学（生物と環境）	教養科目
科学技術論（エネルギーと環境）	教養科目
人文地理（地域の資源を知ろう）	教養科目
生物学（食べ物を科学する）	教養科目
学びの扉（地理学地域環境学）	文学部
知へのパスポート1a（地理学地域環境学）	文学部
知へのパスポート1b（地理学地域環境学）	文学部
地理学・地域環境学基礎演習	文学部
地理学・地域環境学調査研究法a	文学部
地理学・地域環境学調査研究法b	文学部
地理学・地域環境学実習	文学部
地理学・地域環境学演習	文学部
地理学・地域環境学文献講読	文学部
環境地理学	文学部
環境地理研究a	文学部
環境地理研究b	文学部
地域環境システム論	文学部
環境経済学1	経済学部
環境経済学2	経済学部
環境経済学	経済学部
基礎演習1	経済学部
経済学演習1	経済学部
経済学演習2	経済学部
経済学演習4	経済学部
環境と経済	商学部
環境会計論	商学部
環境とビジネス	社会学部
環境社会デザイン1	社会学部
産業社会環境論1	社会学部

科目名	開講
環境社会デザイン2	社会学部
産業社会環境論2	社会学部
基礎演習	社会学部
地球環境政策	政策創造学部
環境とエネルギー政策	政策創造学部
地域と環境	政策創造学部
都市環境	政策創造学部
環境情報論	総合情報学部
環境工学	システム理工学部
環境学	環境都市工学部
建築環境工学概論	環境都市工学部
環境有機化学	環境都市工学部
建築光環境学	環境都市工学部
環境有機化学実験	環境都市工学部
建設環境材料学	環境都市工学部
地球環境建築論	環境都市工学部
地球環境と建築	環境都市工学部
入門エネルギー環境学	環境都市工学部
都市環境学概論	環境都市工学部
環境化学ディスカッション	環境都市工学部
都市環境工学実験	環境都市工学部
環境分析化学	環境都市工学部
環境熱工学	環境都市工学部
環境反応工学	環境都市工学部
大気・水環境工学	環境都市工学部
環境化学プロセス設計	環境都市工学部
建築環境工学演習	環境都市工学部
地球環境工学	環境都市工学部
建築環境工学実験	環境都市工学部
環境計画学	環境都市工学部
環境水工学	環境都市工学部
環境計画学演習	環境都市工学部
環境科学	化学生命工学部
社会環境適応材料	化学生命工学部
環境化学	化学生命工学部
エネルギー・環境論	工学部
環境エネルギー工学特論	工学部
建築環境学特論	工学部
環境システム学特論	工学部
水圏環境学特論	工学部
地盤環境工学特論	工学部
環境調和材料特論	工学部

科目名	開講
環境微生物工学特論1	工学部
環境微生物工学特論	
環境分析特論	
都市環境学特論	
住まいの環境工学	
環境工学特論	
生物環境工学特論	
建築環境工学1	
建築環境工学2	
建築環境工学3	
建築環境工学4	
建築と地球環境論	
環境工学1	
環境デザイン実習	
環境プロセス工学	
建築環境工学演習	
建築環境工学実験	
沿岸環境工学	
流域環境工学	
環境工学2	
環境計画学演習	
環境保全工学	
環境地盤工学	
環境微生物工学	
生物環境工学	
環境化学	
人間環境学研究A　講義	文学研究科
人間環境学研究B　講義	
地域環境学研究A　講義	
地域環境学研究B　講義	
自然環境学研究　講義	

科目名	開講
都市環境工学ゼミナール7	理工学研究科
都市環境工学ゼミナール8	
環境微生物工学特論	
環境微生物工学特論1	
生物環境工学特論	
水圏環境学特論	
エネルギー･環境論	
環境分析特論	
都市環境学特論	
住まいの環境工学	
建築環境学特論	
地球環境建築学特論	
都市住環境学特論	
建築環境デザイン特論	
地盤環境工学特論	
環境工学特論	
環境システム学特論	
環境調和材料特論	
エネルギー･環境工学ゼミナール1	
エネルギー･環境工学ゼミナール2	
エネルギー･環境工学ゼミナール3	
エネルギー･環境工学ゼミナール4	
エネルギー･環境工学PBL　1（計画編）	
エネルギー･環境工学PBL　2（実施、検討編）	
環境経営と会計	
地球環境再生生産プロセス	
都市システム工学ゼミナール1	
都市システム工学ゼミナール2	
都市システム工学ゼミナール3	
都市システム工学ゼミナール4	
環境法	法務研究科
法と環境	

公開講座・セミナー

関西大学では、社会貢献のため、広く一般人も参加することができる公開講座、セミナーを随時開催しています。以下、2009年度に実施した「環境」に関する講座、セミナーを紹介します。

公開講座･セミナー名	テーマ	備考
Kan-Dai　ネックレスセミナー	微生物とバイオ	システム理工学部 環境都市工学部 化学生命工学部
Kan-Dai　1セミナー	国際化の進むリサイクルと広がる環境汚染 -廃棄物貿易の今後を考える-	経済学部
	食品廃棄物からの機能性生理活性物質の分離による新商品の開発	環境都市工学部
	地球温暖化ガスの無害化と再資源化	
	省エネルギー･新エネルギーと私たちの暮らし	
	微生物とバイオ	化学生命工学部
吹田市民大学関西大学講座	微生物と環境浄化	化学生命工学部

学生等の取り組み

関西大学ボランティアセンター事務室は、『ボランティアセンター学生スタッフ（以下、学生スタッフ）』と『ボランティア系団体』の育成・活動支援を行っています。学生スタッフは、「ボランティアセンター事務室職員と共にセンターの運営事業に携わり、学生目線から学生のボランティア参加のきっかけ作りを行う」という理念のもと活動する団体です。以下に、学生スタッフがボランティアセンター事務室職員と共に学内外の環境を改善するべく取り組んできた環境保全活動を紹介します。

活動名称・期間・場所	目　的	活動内容等
ボランティア体験ツアー **～淀川掃除ボランティア～** 2007年8月以降、 毎月第1日曜日 淀川河川沿い	市民団体が実施している「淀川掃除ボランティア」にボランティアセンター職員と共に学生スタッフが参加し、これを一般学生に対して行う「ボランティア体験ツアー」と位置づけ、継続して実施中	
ミズヒマワリ駆除活動 2008年12月～2009年3月の間、月1回（1月は試験期間になるため不参加） 高槻市・芥川（淀川水系）	茨木土木事務所、高槻市とNPO法人などの市民団体が取り組んでいる特定外来生物の「ミズヒマワリ」の芥川周辺の駆除活動に参加	実施団体や地域の人と交流しながら、協力して約40名が作業
エコキャップ運動 2008年7月から開始	ペットボトルキャップを回収し、リサイクルすることによって得た利益を、NPO法人を通じ、支援先の世界の子供のワクチンとして送付	2009年6月に、2000個のキャップをエコキャップ運動協賛企業へ学生スタッフが持参
ecoキャンペーン **～身近なところから始めるeco～** 2008年10月1日～3日 総合学生会館 凜風館 1階学生ラウンジ	学生スタッフが大学生のecoに関する知識を深め、ゴミの分別やリサイクルを啓発・推進するため実施	今からできるecoに焦点を当て、展示を工夫し、また、参加者が楽しめるようクイズ形式を採用
学園祭「ecoフェスティバル」 2008年11月1日～4日 総合学生会館 凜風館 1階学生ラウンジ	「ecoキャンペーン」の第2弾として実施	大人から子供まで、楽しみながら環境について学ぶことができるよう配慮した体験型の企画を展開し、各企画の累計で750名を超える来場者が参加

日程	学生スタッフ	一般学生	合計
2008年4月6日	4	10	14
2008年5月4日	7	27	34
2008年6月1日	15	—	15
2008年7月6日	12	8	20
2008年8月3日	5	15	20
2008年9月7日	7	11	18
2008年10月5日	9	17	26
2008年12月7日	4	21	25
2009年2月1日	9	29	38
2009年3月1日	8	20	28
計10回	80	158	238

エコフェスティバル

淀川掃除

2009年4月1日 現在

千里山キャンパス

校地面積 302,027.11㎡　建物延床面積 280,203.82㎡

1. 第1学舎(法学部、文学部、政策創造学部、外国語学部、食堂)
2. 第2学舎(経済学部、商学部、会計専門職大学院、教務センター、食堂)
3. 第3学舎(社会学部、食堂、購買店)
4. 第4学舎(システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部、購買店)
5. 岩崎記念館
6. 尚文館(大学院、臨床心理専門職大学院)
7. 以文館(法科大学院、心理臨床カウンセリングルーム、人間活動理論研究センター、アジア文化交流研究センター、食堂、購買店)
8. 総合図書館
9. 簡文館(関西大学博物館、なにわ・大阪文化遺産学研究センター、人権問題研究室、年史資料展示室)
10. 円神館(ITセンター)
11. ソシオネットワーク戦略研究機構
12. 先端科学技術推進機構(学術フロンティア・センター、産学連携研究センター、医工薬連携研究センター、地域再生センター)、社会連携部(産学官連携センター、知財センター、地域連携センター)
13. ハイテク・リサーチ・センター
14. 児島惟謙館(東西学術研究所、経済・政治研究所、法学研究所)
15. 総合研究室棟(文化交渉学教育研究拠点、英語教育連環センター、マイノリティ研究センター、文化財保存修復研究拠点)
16. 新関西大学会館北棟(入試センター、キャリアセンター、保健管理センター、高大連携センター)
17. 新関西大学会館南棟(インフォメーション、研究推進部、国際部(関西大学日本・EU研究センター、国際教育センター)、レストラン)
18. 学生国際交流館・秀麗寮
19. 千里山東体育館
20. 千里山中央体育館(購買店)
21. 千里山中央グラウンド
22. 千里山北グラウンド
23. 総合学生会館 メディアパーク 瀧風館(学生生活課、ボランティアセンター、生協本部、食堂、購買店)
24. 誠之館2・3号館(サテライト・ステーション)
25. KU シンフォニーホール
26. 誠之館5号館(凱風館)
27. 誠之館6号館(有鄰館)
28. 誠之館7号館(新凱風館)
29. 誠之館8号館(養心館)
30. 悠久の庭
31. 千里山北広場
32. 高松塚古墳壁画再現展示室
33. あすかの庭
34. エクステンション・リードセンター
35. 親和館
36. 関西大学第一高等学校
37. 関西大学第一中学校
38. 秀麗館
39. 関西大学幼稚園
40. 関西大学会館(法人本部、大学本部)
41. 100周年記念会館(レストラン)
42. 教育会館
43. 教育会館別館(出版部)
44. 校友・父母会館(教育後援会、校友会)

ホール

- A 新関西大学会館北棟ホール
- B マルチメディアAV大教室(尚文館内)
- C BIGホール100(第2学舎4号館内)
- D ソシオAV大ホール(第3学舎4号館内)
- E 100周年記念会館ホール
- F KU シンフォニーホール
- G 千里ホールA・B(第1学舎1号館内)

高槻キャンパス

校地面積 453,416.97㎡
建物延床面積 36,643.34㎡

1. A棟 管理・研究棟
2. B棟 図書・教室棟
3. C棟 スタジオ棟
4. D棟 大学院棟
5. E棟 教室棟
6. F棟 ネットワーキング研究センター
7. L棟 厚生棟(食堂、購買店)
8. S棟 ステューデントハウス
9. R棟 リサーチハウス
10. G棟 体育館
11. 全天候型ハードコート
12. 馬場
13. ゴルフ練習場
14. テニスコート
15. 第1グラウンド
16. 第2グラウンド
17. 関西大学アイスアリーナ
18. 第3グラウンド
19. セミナーハウス・高岳館

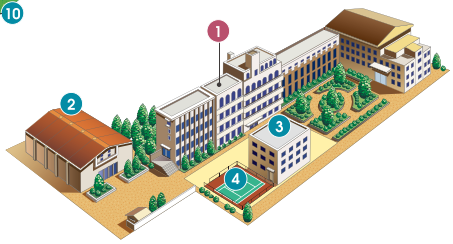
ホール

- A 情報メディアホール(TEホール)

天六キャンパス

校地面積 9,293.02㎡
建物延床面積 12,769.41㎡

1. 学舎(エクステンション・リードセンター、大学院総合情報学研究科(サテライトキャンパス))
2. 体育館
3. 有鄰館
4. テニスコート



Kansai University Environmental Report Data Book 2009

環境報告書データブック 2009

関西大学

http://www.kansai-u.ac.jp/

お問い合わせ先

学校法人関西大学総務局総務課
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL 06-6368-1121(代)
somu@ml.kandai.jp

PRINTED WITH SOY INK™
この印刷物には、環境に優しい大豆油インキを使用しています。

ミルクカートン古紙50%以上配合

発行 2010年3月